

平成 2 6 年度
岡山県立西大寺高等学校特別入学者選抜
選択実施する検査（小論文）

（注意）

- 1 問題は **1** のみで，商(3)，商(4)の 2 枚にわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は **4 5 分** です。
- 3 答えはすべて商(2)解答用紙に明確に記入し，**商(2)解答用紙だけを提出** 下さい。
- 4 答えに字数制限がある場合は，句読点やカギカッコなどもそれぞれ字数に数え下さい。
- 5 答えを直すときは，きれいに消してから新しい答えを書きなさい。
- 6 **受検番号** を商(2)解答用紙の決められた欄に記入下さい。

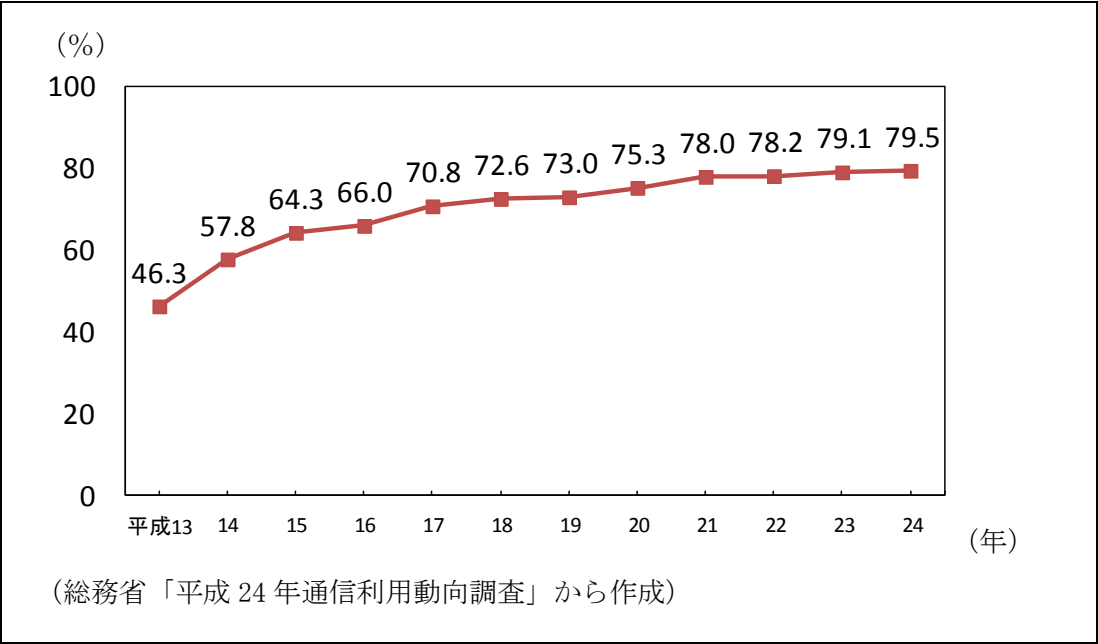
1 次の問一と問二に答えなさい。

問一 次の2つの資料から、それぞれ読み取れることを50字以内でまとめて書きなさい。

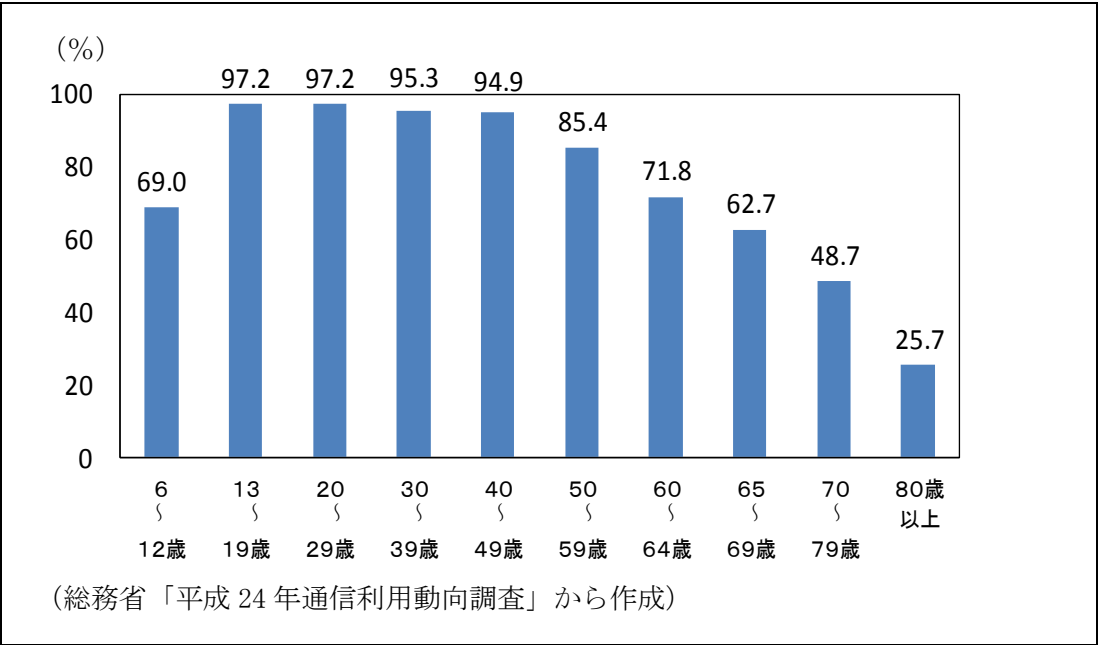
資料1のグラフは、日本におけるインターネット利用者数の割合を年ごとに表したものです。

資料2のグラフは、日本における平成24年のインターネット利用者数の割合を年齢別に表したものです。

資料1 インターネット利用者数の推移



資料2 インターネット利用者数の年齢別割合



問二 次の文章は、「情報社会におけるインターネットや携帯電話の役割」について書かれたものです。文中の□に入るあなたの考えを三百字以内の文章で書きなさい。ただし、□の前後のつながりをよく考えて書きなさい。

現代社会では、日常の生活がインターネットなどの普及により、とても便利になった。高校生になると手軽に携帯電話を使い、インターネットの世界にも簡単に入り込んでいるようだ。これほど人々が利用する割合が高くなると、日常生活においてインターネットや携帯電話はなくてはならないものであり、人間関係やコミュニケーションのあり方にも大きな影響を与えるようになった。

確かに、インターネットや携帯電話による通信は、直接に対話することに比べてみると、人間同士を深く結びつけることは難しいだろう。また、さまざまな情報の中には、社会に反する行為につながるものもあり、犯罪に巻き込まれる危険性もある。未成年者がインターネットや携帯電話を使用する際には、このような有害なものにつながらないように、何らかの規制を義務づけることも検討されている。

しかし、インターネットや携帯電話は、従来の通信手段に比べて、より速く、費用も安く通信することができる。これらに加えて、次のような三つの長所も考えられる。

今後の社会において、情報通信技術を日常生活でより深く活用するためには、さまざまな情報機器の特性を良く理解して、うまく使いこなすことが大切である。